

## 熊本県立大学 令和7年度 新熊本学～地域社会と協働～

### ■癒しの里戦略について（主な意見・感想）

- ・食（農）花と緑、文化、スポーツの各分野において様々な取組をしており、それぞれの分野でどのような事業を行っているか知ることができた。
- ・観光を単なる集客ツールとするのではなく、経済の基盤として教育や福祉等の充実につなげているとう考え方が印象に残った。
- ・菊池市の課題である人口減少や高齢化等の課題に対して、各分野の特性を活かしながら持続的な発展を目指して積極的に取り組んでいる。
- ・観光のためだけでなく、地域住民が関わることでまちへの愛着やつながりが生まれているように感じた。
- ・デジタルアーカイブでは、QRコードから街中全体を博物館のように楽しめる可能性を持って、博物館を建てなくても良いのがコスト削減できて良い。
- ・人口減少への対策として、「定住人口」を増やすことばかりに目を向けていたが、観光客が継続的に地域を訪れることも、経済効果や地域の活気という面で定住者の増加と同じ程重要だという視点が印象に残った。

### ■重点戦略について

#### 1. TSMC への対応（主な意見・感想）

- ・TSMC の進出により周辺の人口増加や土地の高騰が起きているが、菊池市の地形を生かして開発を促進しており、時代に合わせて柔軟に行動することが大事だと実感した。
- ・人口の増加や工業の成長など様々な影響があるが、自然を提供することに力を入れ続けている点が素敵だと思う。
- ・近隣の産業誘致や都市計画の動きが将来のまちづくりにどう結びつくか重要。他地域の成功例や新しい企業誘致の動きを参考にしつつ、魅力を活かした人口維持、創出の方策を進めていく必要があると考える。

#### 2. アウトドア戦略（主な意見・感想）

- ・竜門ダム周辺の自然環境を活かし、一日中健康的に過ごせる場所を整備する考えは、菊池市ならではの魅力を最大限に引き出す取り組みだと感じた。
- ・大きなブランコと竜門ダムが印象的でとても興味を持った。
- ・家族連れが一日中過ごせる場所は少ないと思うので、子育て世代の集客はアウトドア環境を整備することで叶うものだと考える。

### 3. グルメ戦略(主な意見・感想)

- ・菊池市で作られているお米が日本一を受賞したことを初めて知った。
- ・菊池基準による安心安全な農産物や、インターネット販売、6次産業化、健康食材の開発など加工や販売まで含めて考えられていることが印象的だった。
- ・米日本一プロジェクトは地産地消を促し、地元愛を培うことにつながり、全国に菊池市の名を知らしめるとても良い事業だと思う。

### 4. まちなか戦略 (主な意見・感想)

- ・ゆっくり歩きながら様々な場所を訪れ、まちの雰囲気や魅力を知れるところがいい。
- ・勉強のためキクロスを利用している。キクロスにおいて様々なイベントが開催されており、世代を超えた交流が地域の活性化につながっていると思う。
- ・はなまちプロジェクトやかわまちプロジェクトについて、市や企業だけでなく、地域住民が主体となって参加する形であり、持続可能な社会を実現しており良い循環が生まれると思った。

### 5. 菊池温泉街リブランディング事業 (主な意見・感想)

- ・滞在時間を延ばす工夫がされており、地域資源を組み合わせることで経済効果を高めようとする姿勢が伝わった。
- ・温泉街のリブランディングや軒先空間の活用など、10年後の具体的な姿が描かれており、行政だけでなく市民が主体となるまちづくりの重要性を感じた。
- ・外国人を含む観光客にとってとても魅力的だと感じ、自分も訪れたいと思った。

### 6. 菊池一族戦略 (主な意見・感想)

- ・菊池ファンクラブについて、菊池へのリピーターを増やすだけでなく、菊池に繋がりがある人に関心を持ってもらうという着眼点が面白いと思った。
- ・鹿児島出身なので西郷隆盛が菊池市に関係していると知って驚き親近感がわいた。
- ・菊池一族の名前は知っているがどのような活躍があったか詳細は知らないので実際に菊池に行き学びたい。

### 8. 黒船戦略

- ・農業用水路を活用したイデベンチャーについて、身近な資源を観光に転換する発想が斬新で楽しそうだった。
- ・民泊について、非日常的な活動を体験することができると思うのでぜひ行ってみたい。
- ・サムライや温泉といった歴史や文化が外国人に興味を与え、インバウンド増加に影響している。

## 9. 市民参画（主な意見・感想）

- ・市民参画を重視しており、人の力を原動力と捉えている点から持続可能な地域づくりにおいて行政と市民の協働が不可欠。
- ・世代に関わらず、行政と市民が共創しているのが良いと思った。
- ・行政だけでなく、市民一人ひとりが主体となってまちづくりに関わることの重要性を学んだ。
- ・子どもから大人、企業まで幅広く関わる仕組みは市民全体で地域を支える意識を育てており、地域の誇りと持続可能性を両立させるモデルであると感じた。

## ■その他（主な意見・感想）

- ・安定した住民生活の保持増進には、観光業以外にも力を入れる必要があると考える。
- ・自然豊かで夏に川の近くに行くと涼しく過ごしやすいため避暑地として有名になればより多くの人が訪れるのではないかと考えた。
- ・「つどう」「つなげる」「つづける」の3つの「つ」について、地域創生の分野だけでなく様々なところでも活きると思う。
- ・地域資源を「ないものねだり」するのではなく、地域と向き合い「あるもの探し」することは地域活性化に向けた政策を考える上で重要な考え方だと感じた。
- ・自分にとっては当たり前の光景でも外から来た方にとっては非日常で観光資源になるということを感じて良かった。
- ・観光向けの施策だけでなく、市民が楽しく暮らせるような施策も多くあり菊池市の魅力がとても伝わった。
- ・市長自身の言葉から菊池市への強い地元愛が感じられ、地域資源に対する誇りを持って語られていた点がとても印象的だった。
- ・地域づくりに主体的に向き合う視点の大切さを実感した。
- ・自然や歴史を活かした菊池市の観光が魅力的だと思った。実際に菊池市を訪れてみたい。
- ・公共交通機関が少なく、訪れにくいと感じてしまう点は大きな課題。交通手段の工夫や改善が進めば、菊池の良さをもっと多くの人が体感できるのでは。
- ・菊池市の取組は、経済、観光、人づくりを結び付け、地域の誇りと持続可能性を両立させるモデルであると感じた。